



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年10月9日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



迫る

気候科学者の覚悟

台風や線状降水帯などによる被害が後を絶ちません。猛暑にも襲われています。これらの背景について、地球温暖化の影響が指摘されています。

一方、気候変動に関する政策論について、科学者が消極的になっているのも事実です。

この政策論は対立を生むリスクをはらんでいるからです。

その中で、国立環境研究所の上級首席研究員、江守正多さん

(52) =写真=は、神戸市の石炭火力発電所を巡る民事訴訟で、原告側の証人として、人生で初めて法廷に立ち

9日(日) = 1、3面

ました。発電所の新設、稼働差し止めを求めるこの裁判は「気候変動訴訟」とも呼ばれ、注目されています。気候科学者の第一人者である江守さんの主張、行動の背景にある覚悟に迫ります。

論点

クールジャパンの現在地 12日(水) = オピニオン面

アニメや漫画、食文化など、世界から「クール(カッコいい)」と捉えられる日本の魅力を発信する「クールジャパン」戦略。

「クールジャパンの現在地」をテーマに、政策研究者でクールジャパンについての政策提言もしてきた小田切未来さん = 写真= と、上武大教授で文化に関する経

済学を専門とする田中秀臣さん = 写真= に、クールジャパンの功績や課題、今後のビジョンなどについて論じてもらいます。



「産後。パ育休制度」始まる

12日(水) = 4面

10月から育児・介護休業の法改正で、新しい制度「産後。パ育休」がスタートしました。男性を対象に、子どもが生まれてから8週間以内に最大4週間の育休が取得可能になりました。

男性の育休取得率は2021年実績で約14%と低く、政府が掲げる「25年までに男性の育休取得率30%」の達成に向け、起爆剤となるのでしょうか。現状の課題なども交え、取材しました。

特集 ワイド 江川紹子さん「オウムより巧妙」

14日(金) = 夕刊特集ワイド

かつてオウム真理教事件を追ったジャーナリストの江川紹子さん = 写真= は、現在は神奈川大特任教授として学生に「カルトの実態」を教えています。世界平和統一家庭連合

(旧統一教会) 問題について、関連団体を通じて政治家と接触を図るところなどは「オウムと比べて洗練されていて、より巧妙です」と話しています。

旧統一教会問題とど

う向きあうべきか、江川さんに聞きました。



竹橋の窓辺から

編集後記

共生社会の実現に向けて、毎日新聞社には有識者らと課題などを話し合うオンラインインタビュー「毎日常生会議2022」を開催しています。初回のLGBTQに続き、14日に開く第2回は「乳がんについて考えておきたいこと」。患者の10%は男性だそう。10月は乳がんの早期発見・早期治療の大切さを啓発するピンクリボン月間でもあります。ぜひ、一緒に考えてみませんか。QRからお申し込みください。(石原聖)



新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年